

Title	プログラム
Author(s)	
Citation	年次学術大会講演要旨集, 18: 4-21
Issue Date	2003-11-07
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5974
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	プログラム

11月7日（金）9:00～10:15

	B会場 (3号館中2階M202)	C会場（第5会議室）	D会場（第6会議室）
	一般講演 産官学連携 座長 隅 藏 康 一	一般講演 ナレッジ・マネジメント 座長 佐 脇 政 孝	一般講演 企業の研究開発戦略 座長 渡 辺 千 仞
9:00			
9:15		1C02 製品開発における情報処理－ 不確実性の影響について－ ○貴志奈央子（東大経済 学）……………59	1D02 イノベーション・プロセス における硬直性の異 ○田路則子（明星大情報 学） ……………99
9:30	1B03 産学連携に関する大学人の 取組と今後の課題について ○安永裕幸，菅原洋行，千 田和也（NEDO） ……23	1C03 企業理念の浸透要因に関す る研究～フランチャイズ チェーンA社における事例 調査～ ○鱈 裕子，犬塚 篤，亀 岡秋男（北陸先端科学技術 大学院大）……………63	1D03 コンペティティブ・テクニ カル・インテリジェンスの 考え方と応用 ○菅澤喜男（日大グローバ ルビジネス研） ……103
9:45	1B04 産学共同研究の企業特性・ 技術特性別分析（第1報） ○坂元耕三，近藤正幸（横 国大）……………27	1C04 知識フローの現状とその課 題 ○犬塚 篤（北陸先端科学 技術大学院大）……………67 一般講演 独立行政法人化 座長 板 倉 周一郎	1D04 発表中止
10:00	1B05 産学連携 1983-2001 ○中山保夫（文科省・科学 技術政策研），齋藤芳子 （産総研・技術と社会研究 センター），細野光章（文 科省・科学技術政策研）， 福川信也（日本学術振興 会），小林信一（産総研・ 技術と社会研究センター） ……………31	1C05 産総研の組織・制度変革と 産業技術創出に向けた成果 の増大－フラウンホー ファー協会，マックス・プ ランク協会との比較－ ○大沢吉直，近藤正幸（横 国大）……………71	1D05 企業の標準化戦略の新たな 展開について ○高橋 浩（富士通），渡 辺千仞（東工大社会理工 学）……………107
10:15			

E会場（第7会議室）	F会場（第8会議室）	
一般講演 研究人材・人材育成 座長 調 麻佐志	一般講演 科学技術と社会 座長 緒方三郎	
	1F01 一般成人と高校生の科学リ テラシーに関する比較分析 ○岡本信司（静岡大地域共 同研）……………164	9:00
	1F02 環境とイノベーションの研 究と教育の必要性 ○玄場公規（東大工学）， 天野明弘（地球環境戦略研 究機関），松村寛一郎（関 西学院大総合政策学） ……………166	9:15
	1F03 遺伝子組換え作物に関する 議会テクノロジー・アセス メント機関報告書の国際比 較 小山田和仁，草深美奈子， ○浜田真悟，山下泰弘，小 林信一（産総研・技術と社 会研究センター）……168	9:30
1E04 ハイアールの人的資源開 ○徐 方啓，國藤 進（北 陸先端科学技術大学院大） ……………135	1F04 映画の中の医療とバイオテ クノロジー：肯定度分析法 の確立 ○藤巻喜代子，白楽ロック ビル（お茶の水女子大理 学）……………172	9:45
1E05 公共職業訓練の現状分析と 雇用効果に関する研究—富 山県内の公共職業訓練施設 における事例調査— ○種田隆子，亀岡秋男（北 陸先端科学技術大学院大） ……………139	1F05 バイオ研究者の不正行為： 新聞記事データベースの作 成と解析 ○松尾未亜，白楽ロックビ ル（お茶の水女子大理工学） ……………176	10:00

10:15

11月7日（金）10:15～11:30

	B会場 (3号館中2階M202)	C会場（第5会議室）	D会場（第6会議室）
10:15	1B06 産学官連携研究による商品化過程の実態 ○高津義典（香川大学工学）……………35	1C06 高等研究教育機関における学際領域研究者の研究評価に関する一考察 ○馬場敏幸，小林俊哉（東大先端研）……………75	1D06 ハイテク小規模企業の連携型イノベーションの有効性 ○田辺孝二，渡辺千仞（東工大社会理工学）……111
10:30	1B07 中国における産学連携の制度変化メカニズムの研究—清華大学の事例を中心に— ○Lau Sim Guan（東京国際大経済学）……………39	1C07 東大先端科学技術研究センターにおける特任教員制度の現状と展望—国内大学における教員任期制の一事例として— ○小林俊哉，馬場敏幸（東大先端研）……………79	1D07 ハニカム構造セラミックスにおける新機能創出と技術の伝播についての実証分析 ○大村 昭，渡辺千仞（東工大社会理工学）……115
10:45	1B08 地域産官学連携とリエゾン戦略—セクター超越型組織の政策過程 ○田柳恵美子（法政大社会科学）……………43	1C08 企業における商品化意思決定プロセスとNEDO研究開発事業の関係に関する一考察 ○高田和幸，増井慶次郎（NEDO）……………83	1D08 一半導体—生存戦略の超克から競争戦略への転換 渡辺千仞，○藤井三康（東工大社会理工学）……119
11:00	1B09 産官学セクター間に横たわる3つの障壁—価値基準のギャップ・技術のギャップ・組織のギャップ ○田柳恵美子（法政大社会科学）……………47	1C09 独立行政法人NEDOにおける研究加速のマネジメント ○山田宏之，小柳樹弘（NEDO）……………87	1D09 Optimal Trajectory of Agile Product Development Technology Stock Formation in Japan's Automotive Industry Bernadetta Kwintiana Ane，○渡辺千仞（東工大社会理工学）……………123 （「キヤノンとヒューレット・パッカートの協創と競争」は2E29へ変更）
11:15	1B10 産学連携型実用化研究開発の現状と展望について ○森田弘一（NEDO／神戸大経済経営研），山崎光浩（NEDO）……………51	1C10 独立行政法人NEDOにおける研究開発事業の中期的マネジメント ○小柳樹弘，山田宏之（NEDO）……………91	1D10 An Empirical Analysis of Smart Cooperative R&D Structure: Japan's Transport Machinery Industry Jae Yong Hur，○渡辺千仞（東工大社会理工学）……………127
11:30			

E会場（第7会議室）	F会場（第8会議室）	
1E06 研究指導者からみたポスト クと大学院生 ○加藤 毅（筑波大学 研）……………143	1F06 技術史的認識を産業政策に 直接応用できるか ○土屋新五郎（エンジニア リング振興協会）……………180	10:15
1E07 政府研究開発プロジェクト における研究者の属性及び 研究開発チーム構築に関す る考察—NEDO研究開発プ ロジェクトにおける事例分 析— ○安永裕幸，真鍋洋介 （NEDO）……………145	一般講演 技術と経済 座長 緒方三郎 1F07 デフレ下における技術進歩 パラドックス—労働・資本 生産性の同時上昇と技術進 歩停滞— ○藤 祐司，渡辺千仞（東 工大社会理工学）……………184	10:30
1E08 アカデミックキャリアパス における女性の割合 ○伊藤裕子（文科省・科学 技術政策研）……………149	1F08 景気変動支配要因分析と ニューワールドオーダーへ の技術経営的考察 ○光定建治，渡辺千仞（東 工大社会理工学）……………188	10:45
1E09 研究者のキャリアとその生 産性の相関性について ○三浦有紀子（文科省・科 学技術政策研）……………153	1F09 （1D09へ変更。以降の 発表繰り上げ）	11:00
1E10 科学技術政策研究のフロン ティア：女性の科学技術関 連専門職への進出をめぐっ て ○富澤宏之，伊藤裕子，三 浦有紀子（文科省・科学技 術政策研）……………156	1F10 A Transition of Technological Distance in Japanese Manufacturing Sectors ○許 光仁（三星電子）， 渡辺千仞（東工大社会理工 学）……………192	11:15
		11:30

11月7日（金） 11:30～12:00

	B会場 (3号館中2階M202)	C会場（第5会議室）	D会場（第6会議室）
11:30	1B11 米国における産官学連携— テキサス州を中心とした現 状報告— ○西村由希子（東大先端 研）……………55	1C11 産業技術シーズ発掘を目的 とした競争的研究開発資金 の配分に関する考察 ○安永裕幸，藤崎 栄，坂 川真理（NEDO） ……95	1D11 Converging Trend of Innovation Efforts and Economic Performance: A Case of Japan's Electrical Machinery Industry Jae Yong Hur, ○渡辺千仞 （東工大社会理工学） ……………131
11:45			

12:00

11月7日（金） 12:15～12:45

	A会場（4号館2階講堂）
12:15	総 会
12:45	

E会場（第7会議室）	F会場（第8会議室）	
1E11 科学技術における機会均等 一日欧比較を中心として— ○山内（吉祥）瑞枝（東邦 大理学）……………160	1F11 IT社会下での低成長理論と その実証～技術ストックア プローチ～ ○柳沢英太，渡辺千仞（東 工大社会理工学）………196	11:30
	1F12 情報通信技術に関わる耐久 消費財の普及率分析—なぜ Bassモデルに従わないのか— ○三藤利雄（県立長崎シー ボルト大）……………200	11:45
		12:00

11月7日（金）13:00～17:50

A会場（4号館2階講堂）	
特別講演	司会 廣松 毅
私の脱工業社会論序説 林 雄二郎（財団法人未来工学研究所副理事長，当学会会長）……………204	13:00
独立法人化後の国立大学の新しい姿：東大先端研の取り組みから 南谷 崇（東京大学先端科学技術研究センター長）……………207	13:40
シンポジウム 「ナショナルイノベーションシステム（NIS）の進化と政策的対応」……………212 司会 渡部 俊也	14:20
問題提起 ナショナルイノベーションシステムの進化：20年遅れての出発 馬場 靖憲（東京大学先端経済工学研究センター教授）……………213	14:25
事例報告 我が国のNISの実態 能見 利彦（新エネルギー・産業技術総合開発機構企画調整部主幹研究員）…217	14:40
国立大学の法人化により，日本の大学はどう変わるか 山本 眞一（筑波大学大学研究センター教授・センター長）……………223	15:05
公的研究機関の独立行政法人化のインパクト—公的研究機関経営論の視点から— 宮林 正恭（千葉理科大学〔2004年4月開学予定〕副学長）……………228	15:30
ベンチャー振興，目利き，大企業スピンアウト 加山 幸浩（株式会社イーシー・ワン代表取締役社長）……………240	15:55
企業へのイノベーションの浸透 西野 壽一（株式会社日立製作所中央研究所所長）……………259	16:20
討 論	17:50

11月8日(土) 9:00~10:15

	A会場 (4号館2階講堂)	B会場 (3号館中2階M202)	C会場(第3会議室)
	一般講演(ホット 이슈ー) 科学技術政策の形成体制 座長 丹羽 富士雄	一般講演 ITと科学技術 座長 菊池 純一	一般講演(ホット 이슈ー) ニーズを見据えた研究開発1 座長 近藤 正幸
9:00	2A01 EUにおける科学技術政策の 形成プロセス ○森 政之, 竹野忠弘(名 古屋工大), 北野重人(名 古屋大)261		2C01 Providing "Ba" for the Interaction between Global Needs and Seeds Holders for Innovation ○Yutaka Kuwahara (GVIN, Inc)433
9:15	2A02 在欧州テクノロジー・アセ スメント機関の模索—TAMI プロジェクトを事例として — ○細野光章(社会技術研究 システム)263		2C02 ニーズ対応型産学連携の実 践 ○長田純夫(福岡大大牟田 産学連携推進室), 松田一 也(九州大)437
9:30	2A03 フロンティア分野における 政策形成のあり方—宇宙開 発における政策形成体制の 考察と今後の課題— ○熊田 憲(東北大工学)264		2C03 製品開発におけるニーズと シーズの融合 ○岩間 仁, 近藤正幸(横 国大)441
9:45	2A04 発表中止	2B04 通信プロトコル技術の技術 軌道の分析 ○藤井章博(文科省・科学 技術政策研), 玄場公規 (東大工学)343	2C04 ターゲットドリブン型イノ ベーションモデルに関する 研究 ○大亀新平, 長平彰夫(東 北大工学)445
10:00	2A05 科学技術政策の形成体制— 「地域科学技術政策」に関 連して ○姜 娟(東北大情報科 学), 原山優子(東北大工 学)268	2B05 ITの自己増殖化機能発現に よる企業体の競争優位性発 揮の実証 ○保々雅世(ヴィリアネッ ト・ジャパン), 渡辺千仞 (東工大社会理工学)345	2C05 プロダクト・イノベーション におけるFuzzy Front End理論に関する研究—日 本企業とドイツ企業の新製 品開発事例調査による Fuzzy Front End理論の比 較検証— ○高橋 修, 長平彰夫(東 北大工学)449

10:15

D会場（第4会議室）	E会場（第5会議室）	
一般講演 研究開発型NPOと産官学連携 座長 丹羽 清	一般講演 R&Dと国際展開 座長 亀岡 秋男	9:00
		9:15
2D03 「研究開発型NPO」のマネジ メントーその1：NPO型 分散研究システムのマネジ メント ○石黒 周（科学技術振興 事業団／東大），北野宏明 （ソニーCSL／科学技術振 興事業団），丹羽 清（東 大総合）……………530	2E03 発表中止	9:30
2D04 研究開発型NPOの類型と科 学技術関連活動における可 能性について ○茶山秀一（文科省），池 田一郎（経産省），高尾正 樹（東工大），中谷光博 （産総研），亀本睦矢（東 大），石黒 周（科学技術 振興事業団／東大）…534	2E04 我が国企業の海外R&D拠点 展開動向を中心とした国際 的R&D活動の進展と停滞 ○安田英土（江戸川大社会 学）……………630	9:45
2D05 研究開発型NPO介在ベン チャー創出プロセス：研究 からのベンチャー企業の新 創出プロセスの提案 ○石黒 周（科学技術振興 事業団／東大），丹羽 清 （東大総合）……………538	2E05 日本企業における海外研究 開発の促進要因－電気機器 メーカーの分析－ ○竹中厚雄（静岡県立大経 営情報学），真鍋誠司（神 戸大経済経営研）……634	10:00
		10:15

11月8日（土）10:15～11:45

	A会場 (4号館2階講堂)	B会場 (3号館中2階M202)	C会場（第3会議室）
10:15	2A06 科学技術政策形成における 「政治主導」体制のあり方 ○平澤 冷（東大名誉教 授）……………272	2B06 エレクトロニクス・ディバ イス開発における関係性マ ネジメントに関する研究～ 米国レップの活動を中心と して～ ○笠原英一（富士総研） ……………349	2C06 討論
10:30	2A07 討論	2B07 高度情報化社会における社 会経済体質とその技術政策 への影響 ○陳 昭蓉，渡辺千仞（東 工大社会理工学）……353	2C07 商品開発のためのイノベー ション創出モデルのメカニ ズムと成功要因 ○櫻井敬三，近藤正幸（横 国大）……………452
10:45	2A08 需要側からの科学技術政策 の形成 ○大熊和彦，趙 公章，田 原敬一郎，猪瀬秀博（政策 科学研），丹羽富士雄（政 策研究大学院大）……276	2B08 Product Technology Strategy of Flash Memory Card in Japan's Market ○Wisnu Wihandoko，渡 辺千仞（東工大社会理工 学）……………357	2C08 21世紀融合産業創造に対応 する技術開発戦略 ○旭岡勝義（社会インフラ 研究センター）……456
11:00	2A09 オープン・アドバイザー リー・システムとしてのパ ネル制度 大熊和彦，○趙 公章，田 原敬一郎，猪瀬秀博（政策 科学研）……………280	2B09 新製品イノベーションツ ールとしてのElectric Commerce ○満田深雪（武蔵工大工 学），渡辺千仞（東工大社 会理工学）……………361	2C09 「死の谷」に架ける「三段 階の架け橋」 ○能見利彦（NEDO） ……………457
11:15	2A10 学術研究成果の産業技術創 成プロセスのモデル化 村上孝三，正城敏博，多田 英昭（大阪大），有馬秀平 （大阪TLO），○谷口邦彦 （文科省）……………284	2B10 ITの自己増殖機能の誘発— 供給サイドと需要サイドの 拮抗力分析— ○雷 善玉（都立大社会科 学），渡辺千仞（東工大社 会理工学）……………365	2C10 研究着手の際のチェックポ イントターゲットドリブ ンモデルからの提案— ○能見利彦（NEDO） ……………461
11:30	2A11 研究開発型中小企業との連 携による先端研究機器・装 置の開発 清水利男，糸川太司（北大 阪地域活性化協議会），村 上孝三，佐々木孝友，兼松 泰男，正城敏博，黒川敦彦 （大阪大），○谷口邦彦 （文科省）……………288	2B11 IT活用の駆動力となるイン スティチューションの柔軟 性を引き出す政策オプショ ンの検証 ○近藤玲子（総務省），渡 辺千仞（東工大社会理工 学）……………369	2C11 研究開発プロジェクトの成 功・失敗要因分析—地域新 生コンソーシアム研究開発 事業を対象にした分析結果 — 本多信幸，○塚本芳昭（経 産省・地域技術課）…465
11:45			

D会場（第4会議室）	E会場（第5会議室）	
2D06 アクティブコミュニティマネジメントの提案：研究開発型NPOマネジメント手法の企業への応用 ○内海里季，丹羽 清（東大総合）……………542	2E06 Institutional Factors Governing Economic Development – Cross Country Comparison over 25 Nations ○Gunduz Fatih，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………638	10:15
2D07 NPOを活用した新たな医薬品研究開発形態の提案 ○竹内義高（日立製作所）……………546	2E07 R&D Networks in the U.S.: Emerging Concentration? ○岡村浩一郎，Nicholas S. Vonortas（The George Washington University）……………642	10:30
2D08 ナノテクノロジーの技術移転における研究開発型NPOの可能性—領域横断型物質科学研究の課題と実用化へ新たなアプローチ— ○渡邊英一，山形尚子（化学工学会）……………550	2E08 Comparative Analysis between Made in America and Made by Hong Kong ○Kwok Shum，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………646	10:45
2D09 研究開発型NPOにおけるMOT人材育成の可能性 中谷光博（産総研），○橋本昌隆（タイアップ）……………554	2E09 東南アジアにおける内国民特許出願の分析—インドネシア，マレーシア，タイ，ベトナムの国内出願 ○富田徹男（銀河内外特許事務所）……………650	11:00
2D10 教育研究における産学連携とRoboCupJunior ○野村泰朗（埼玉大教育学）……………558	2E10 中国における内国民特許出願の分析 ○富田徹男（銀河内外特許事務所），長濱 元（東洋大国際地域学）……………654	11:15
2D11 情報処理システムを用いた市民参加型防災まちづくりプロセスに関する一考察 ○畑山満則（京大防災研），石黒 周（科学技術振興事業団／東大）…562	2E11 インスティテューションと矛盾の創造—成長する中国企業を例として— ○北 真収（野村総研），渡辺千仞（東工大社会理工学）……………658	11:30
		11:45

11月8日（土） 11:45～12:15

	A会場 (4号館2階講堂)	B会場 (3号館中2階M202)	C会場（第3会議室）
11:45	2A12 未来需要ダイアログの試行 ―日本版Futurの移植に向けて― ○丹羽富士雄（政策研究大学院大）大熊和彦（政策科学研），中川尚志（政策研究大学院大），趙 公章，田原敬一郎（政策科学研）292		2C12 イノベーション政策の進化 ―collaborationとpartnershipの次に克服すべき課題 ○平澤 冷（東大名誉教授）469
12:00	2A13～ 討論		2C13～ 討論
12:15			

11月8日（土） 13:00～13:30

	A会場 (4号館2階講堂)	B会場 (3号館中2階M202)	C会場（第3会議室）
	一般講演（ホットイシュー） MOT教育の質的検討 座長 丹羽 清	一般講演（ホットイシュー） 知的財産1 座長 西村 由希子	一般講演（ホットイシュー） ニーズを見据えた研究開発2 座長 馬場 靖憲
13:00	2A14 バイオ知財人材育成システムの開発 中島理恵，小寺由恵（神奈川科学技術アカデミー），西村由希子（東大先端研），新保 斎（理研），○隅藏康一（政策研究大学院大）296	2B14 知的財産の価格分析 ○菊池純一（青山学院女子短大）373	2C14 技術のニーズ主導への転換―高度メンテナンスシステム検討の事例から― ○朝倉紘治（エンジニアリング振興協会），垣田行雄（日本システム開発研究所），佐藤信義（旭エンジニアリング），小林秀司，吉岡 孝，後藤芳一（経産省）473
13:15	2A15 Successful Engineer育成に関する研究1～エンジニアコンピテンスの構造解析 ○加藤みどり（東経大経営学），寺本義也（早大アジア太平洋研），神田 良（明治学院大経済学），高井 透（日大商学），キャロライン・ベントン（ウェールズ大），内田 亨（早大）300	2B15 特許制度の諸問題と，問題解決としてのトータルな「発明・特許支援システム」の構築 岡谷 大（千葉工大），○村上忠良（RRI），森田富士男（つくば国際短大）377	2C15 ニーズ主導時代の産業競争力要因に関する研究―プラットフォーム・エンジニアリング産業の事例から― ○後藤芳一（経産省），清水幸比古（日揮），小松原隆（日本システム開発研究所），吉岡 孝（経産省）477
13:30			

D会場（第4会議室）	E会場（第5会議室）	
	2E12 Cooperation and Coevolution－Analysis of ICT industry between China and Japan ○高 昂，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………662	11:45
		12:00
		12:15

D会場（第4会議室）	E会場（第5会議室）	
一般講演 ビジネスモデル 座長 鈴木 潤	一般講演 地域の科学技術 座長 富澤 宏之	
2D14 技術者，研究者のためのビジネスモデル設計手法の研究（1）－企業価値を目指した研究開発主導のイノベーションモデル－ 阿部仁志（沖電気），門正之（東京ガス），○村上泰典（住友電工），佐久間啓（日本電気），平林裕治（清水建設），堀内敏彦（日立製作所）……………566	2E14 ハイテク型の産業クラスターの形成・発展に向けたインフルエンサーの役割 ○西山英作（東北大経済／東北経済連合会）……………666	13:00
2D15 技術者，研究者のためのビジネスモデル設計手法の研究（2） ○堀内敏彦（日立製作所），佐久間啓（日本電気），村上泰典（住友電工），平林裕治（清水建設），阿部仁志（沖電気）……………570	2E15 地域クラスターの日本的成功要素－欧米クラスターとの比較調査研究 斎藤尚樹（文科省・科学技術政策研），前田 昇（大阪市立大），○計良秀美，杉浦美紀彦，俵 裕治，岩本如貴（文科省・科学技術政策研）……………670	13:15
		13:30

11月8日(土) 13:30~14:45

	A会場 (4号館2階講堂)	B会場 (3号館中2階M202)	C会場 (第3会議室)
13:30	2A16 Successful Engineer育成 に関する研究2～成果分類と 育成の要因分析 ○加藤みどり(東経大経営 学), 寺本義也(早大アジ ア太平洋研), 神田 良 (明治学院大経済学), 高 井 透(日大商学), キャ ロライン・ベントン (ウェールズ大), 内田 亨(早大) ……304	2B16 企業における知財戦略とは なにか～戦略論からみた企 業知財戦略の概念整理と知 財組織論への展開～ ○渡部博光, 上原拓郎(中 央大研究開発機構) ……381	2C16 産学連携道場での実践の報 告 ○松田一也(九大工学), 長田純夫(福岡大), 中武 貞文……………481
13:45	2A17 MOTは独立した教育分野か ○土屋新五郎(エンジニア リング振興協会) ……308	2B17 企業における特許評価の実 施状況とその方法及び課題 ○梶原晋吾, 亀岡秋男(北 陸先端科学技術大学院大) ……385	2C17 地域産業創出構想における コーディネーションの負担 と能力とのギャップ ○Songwook Kwon (東 北大経済) ……485
14:00	2A18 企業の開発リーダーを対象 としたMOT研修の要件 ○川端由美, 釘崎康弘, 宮 木宏尚, 原陽一郎(東レ経 営研) ……311	2B18 最近の本格的な産学連携に 対する一考察 ○西尾好司(富士通総研) ……389	2C18 社会経済との相互作用を通 じた技術の性格形成メカニ ズム—成熟化・情報化・低 成長化に対応する技術政策 への覚醒 ○渡辺千仞(東工大社会理 工学) ……489
14:15	2A19 討論	2B19 バイオ企業の特許戦略 ○西尾好司(富士通総研) ……393	2C19 情報化・デフレ構造下のイ ノベーション政策 ○徳増伸二(経産省), 渡 辺千仞(東工大社会理工 学) ……493
14:30	2A20 MOT教育の基本方式案と新 経営制度の「ガバナンス」 への対応 ○松原健夫(立命館大社会 システム研/日本技術イノ ベーション振興協会) ……315	2B20 中小(零細)企業の特許体 制はどうする?—実践から の1提案— ○松田昌幸(テクノカル チャー) ……397	2C20 討論

14:45

D会場（第4会議室）	E会場（第5会議室）	
2D16 利益モデルとその新事業への応用 ○佐久間啓（日本電気）， 赤澤 優（日本航空電子）， 徳永雅亮（日立金属）， 阿部仁志（沖電気）574	2E16 風力発電による自治体の課題共有のあり方 ○石村陽子，亀岡秋男，篠崎香織（北陸先端科学技術大学院大）674	13:30
2D17 ビジネスを冠した言葉の理論的体系化 ○門 正之（東京ガス）， 泉澤清次（三菱重工）， 阿部仁志（沖電気）578	2E17 北陸地域における産業競争力の要因分析 ○澤浦文章，永田晃也，篠崎香織，林 大剛，森 英樹， 周 成哲（北陸先端科学技術大学院大）678	13:45
一般講演 ベンチャー 座長 橋本久義	2E18 公設試験研究機関の活動に関する現状分析 ○佐脇政孝（未来工研）682	14:00
2D18 株式公開後のベンチャー企業におけるマネジメントに関する研究 ○藤田匡佑，長平彰夫（東北大工学）582		
2D19 起業と経済成長に関する分析 ○長田直俊（日本規格協会）， 渡辺千仞（東工大社会理工学）586	2E19 工業系公設試験研究機関の経営課題についての考察 ○若生彦治，奥村皓一（関東学院大）686	14:15
2D20 旧理研の研究開発マネジメントと企業グループマネジメント ○近藤正幸（横国大）590	2E20 Location of sectors with dissimilar characteristics: Technological Distance of prefectures ○Carlos Carvajal，渡辺千仞（東工大社会理工学）690	14:30
		14:45

11月8日（土）14:45～15:45

	A会場 (4号館2階講堂)	B会場 (3号館中2階M202)	C会場（第3会議室）
14:45	2A21 MOT教育研究における課題と展望 ○宮崎久美子（東工大理工学）……………319	2B21 継続的ノウハウの提供とライセンスとの相関 ○松田昌幸（テクノカルチャー）……………401	一般講演 政策評価・研究評価 座長 伊地知 寛 博 2C21 科学技術政策の新たなマネジメントの方法論 ○旭岡勝義（社会インフラ研究センター）……………497
15:00	2A22 欧州工科大学と米国MITにおけるMOT教育の比較 ○田路則子（明星大情報学）……………323	2B22 討論 一般講演（ホットイシュー） 知的財産2 座長 渡 部 俊 也	2C22 科学技術への戦略的資源配分と持続的発展 ○山形与志樹（国立環境研）……………498
15:15	2A23 専門職大学院のMOT教育とは ○山本尚利，寺本義也（早大ビジネススクール）……………327	2B23 「ユビキタス・クライシス」一新規視聴覚情報メディア産業の知財問題を例に— 福田貴成，○寿崎和臣，伊東 乾（東大）……………405	2C23 国家プロジェクトの特許分析による追跡調査 ○馬田芳直，小松秀雄，武澤 泰，原陽一郎（東レ経営研），武富典子（東京創研）……………502
15:30	2A24 北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）における技術経営（MOT）コースの創設～知識科学を基礎とした技術経営（MOT）プログラムの誕生～ ○亀岡秋男，中森義輝，近藤修司，馬場裕二，奥津祥子（北陸先端科学技術大学院大）……………331	2B24 先端科学技術における情報成果物の知的財産権による保護—情報成果物の具体例からみた検討— ○田坂一朗（東大先端研），隅蔵康一（政策研究大学院大），渡部俊也（東大先端研）……………409	2C24 研究評価における相対的引用度の役割と利用上の留意点 ○大野博教（電中研）……………506

15:45

D会場（第4会議室）	E会場（第5会議室）	
2D21 第2段階を迎えたドイツの大学発ベンチャー戦略 ○近藤正幸（横国大）594	一般講演 R&Dとマネジメント 座長 佐協政孝 2E21 次世代技術経営（MOT）の基盤を支える戦略ロードマッピング—Next-generation MOT and Integrated Strategic Roadmapping— ○亀岡秋男，李 萌（北陸先端科学技術大学院大），Steve Collins（北陸先端科学技術大学院大／University of Washington）694	14:45
2D22 スウェーデンのバイオクラスタにおけるバイオベンチャーのビジネスモデルについて：ストックホルムーウプサラ地域のケース ○藤原孝男（豊橋技術科学大）598	2E22 技術経営（MOT）の品質向上を促進する“MOT賞”の創設 ○近藤修司，亀岡秋男，馬場裕二（北陸先端科学技術大学院大）698	15:00
2D23 インキュベーション施設における支援成果の分析—KSPの事例— ○菅原岳人（東大経済学）602	2E23 日本のMOTに求められるもの ○山崎宏之（ルネサステクノロジ），山田郁夫（三菱総研），馬場準一（三菱電機）702	15:15
2D24 留学生の起業意識 ○林 和弘，近藤正幸（横国大）606	2E24 戦略的技術マネジメントのパターン ○片岡俊郎，武澤 泰，原陽一郎（東レ経営研）706	15:30
		15:45

11月8日（土）15:45～17:15

	A会場 (4号館2階講堂)	B会場 (3号館中2階M202)	C会場 (第3会議室)
15:45	2A25 複数大学の理工系学生を対象とした経営教育プログラムの開発 ○西村由希子（東大先端研），比毛智一，山本卓，星野 友，大野一樹（BLS関東）……………335	2B25 高専における産学官連携と知的財産権の現状と課題—東北7高専を事例として ○渡部順一（国立福島高専）……………413	2C25 大学評価システムのメタ評価～大学評価・学位授与機構による研究評価の運営レビュー ○林 隆之，齊藤貴浩，米澤彰純，川口昭彦（大学評価・学位授与機構）…510
16:00	2A26 MOT教育3局面での実施例と今後の展開：実務家教育，教養教育，研究者教育 ○丹羽 清（東大総合）……………339	2B26 静岡大学における知的財産戦略と知的財産本部について ○岡本信司（静岡大地域共同研）……………417	2C26 科学技術国際共同研究プログラムにおける計画とマネジメント—事例調査による特徴と課題— ○川崎弘嗣（文科省・科学技術政策研），小林信一（筑波大大学院研），林 隆之（大学評価・学位授与機構），隅藏康一（政策研究大学院大），新保 斎（理研），綾部宏則（産総研）……………514
16:15	2A27～ 討論	2B27 NEDO技術開発機構の研究開発における知的財産権の取得・管理に関する考察 ○深野琢也，山崎 晃，川上千代子（NEDO）…421	2C27 科学技術基本計画の内容分析・構造分析（第1報） 近藤正幸（横国大／文科省・科学技術政策研），○山本桂香（文科省・科学技術政策研）……………518
16:30		2B28 NEDO研究開発に係る特許及び実施状況に関する考察 ○川村寛範（NEDO）……………425	2C28 論文データベースを用いた新興科学技術領域の俯瞰的探索手法 ○伊神正貫，桑原輝隆（文科省・科学技術政策研）……………522
16:45		2B29 大学知的財産本部整備事業計画に関する調書の分析と考察 渡部俊也，○上條由紀子（東大先端研）……………429	2C29 大学等におけるフルタイム換算データに関する2002年調査の概要 ○富澤宏之（文科省・科学技術政策研）……………526
17:00		2B30～ 討論	
17:15			

D会場（第4会議室）	E会場（第5会議室）	
2D25 大学発ベンチャーの現状と課題 ○中野剛治（東大経済学） ……610	2E25 創造性重視型の研究開発マネジメントの構成要素に関する考察—創造性ある研究者を潰さず、よりシビアに評価し、伸ばす研究開発マネジメントの方策へ— ○斎藤一雄（カネカ・クリエィティブ） ……710	15:45
一般講演 バイオと科学技術 座長 鈴木 潤		
2D26 A Preliminary study on Valuing Pharmaceutical R&D Projects by using Real Option Method – A Tentative Model for Mevalotin's Case ○Luo Yongshun, Takao Fujiwara (Toyohashi University of Technology) ……614	2E26 生産財メーカーにおける効果的な顧客戦略 ○富田純一（東大経済学） ……714	16:00
2D27 公的研究と民間研究：ヒトゲノム解析のケース ○隅藏康一（政策研究大学院大），新保 斎（理研） ……618	2E27 テレマティクスのネットワーク化による経営合理化の可能性 ○斉藤雅之，高山 誠（新潟大経済学） ……718	16:15
2D28 バイオ・テクノロジー分野の政府主導の研究開発プロジェクトの政策効果 ○中村吉明（経産省） ……622	2E28 デフレ環境下での化学産業生存のためのレジリエンス構造の分析 ○森崎省吾，渡辺千仟（東工大社会理工学） ……722	16:30
2D29 Swedish Bio-business clusters in an European context ○Johan Westblad（スエーデン大使館），高山 誠（新潟大経済学） ……626	2E29 キヤノンとヒューレット・パッカードの協創と競争 ○松本清文（キヤノン），渡辺千仟（東工大社会理工学） ……726	16:45
		17:00
		17:15